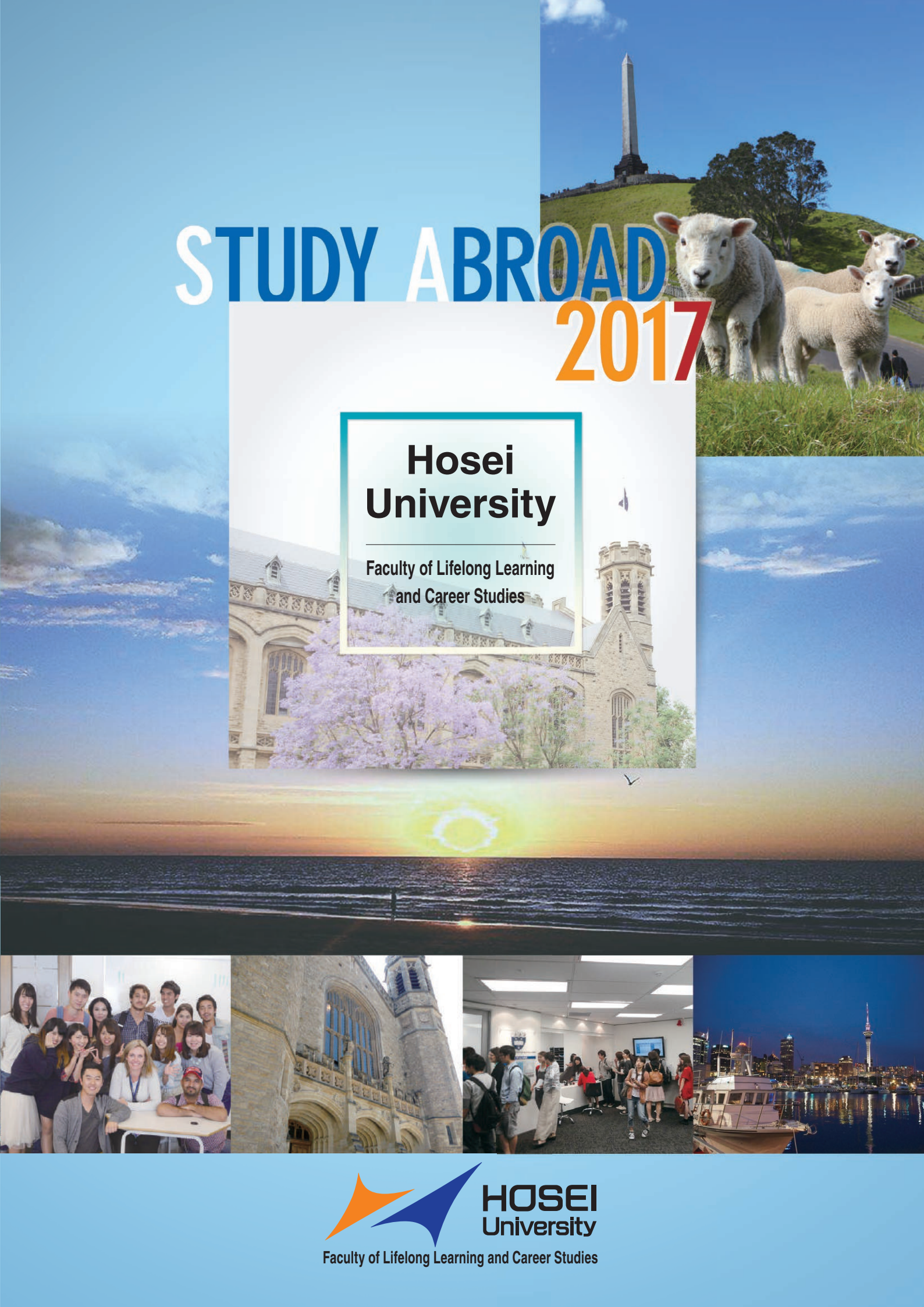


STUDY ABROAD 2017

**Hosei
University**

Faculty of Lifelong Learning
and Career Studies



目次

■ キャリアデザイン学部長からメッセージ.....	1
■ スタディ・アブロード (SA) プログラムとは?	2
SA プログラムの目的	
SA 参加原則	
SA プログラムの内容	
SA プログラム費用	
SA 奨学金	
単位認定	
■ SA プログラムスケジュール /Q&A	4
■ SA 先大学の紹介	
ニュージーランド オークランド大学	6
オーストラリア アデレード大学	10
■ SA 体験記 /TOEFL [®] 、ITP スコアの変化	

キャリアデザイン学部長からメッセージ



キャリアデザイン学部長
金山 喜昭

国際社会がグローバル化しているのに、日本は今日でも不思議なくらいに「日本」のままである。かつて福沢諭吉は、日本が近代化するにあたり、「一身独立して一国独立する」と述べました。それから130年以上が経ちますが、グローバル社会において、日本は真の意味で独立しているのでしょうか。もしかすると、江戸時代の多くの人びとの対外意識と、あまり変わりがないのかもしれない。最近の若年者が海外に目を向けない、「内向き思考」と聞くと、ふと、そんなことを思います。

さて、キャリアデザイン学部では、平成25年夏よりオーストラリアとニュージーランドの大学のSAプログラムを開始しました。このSAは、3ヶ月の英語研修です。1ヶ月では物足りないし、6ヶ月では少し長い。初めての海外研修に、3ヶ月は丁度よいのではないかと思います。語学は、現地で学ぶことが、一番の近道です。若い君たちならば3ヶ月で、センスを身につけることができるでしょう。それを踏み台にして、もう少し長期の留学を考えてもよいし、たとえ1回だけの経験でも決して無駄にはなりません。

SAは、語学を学ぶだけではありません。そのほかにも、いろいろなことに出会う絶好の機会です。世界の多様な民族や価値観を知ることができます。大学では、中国・韓国・台湾・ベトナム・タイなどからの若者たちとも出会うでしょう。3ヶ月間、共に過ごせば、相互に理解しあえる。友人にもなる。現地の文化や歴史を知り、異なる衣食住の習慣を経験することで、日本との風土の違いを実感することでしょう。「なぜ」という疑問がたくさん浮かぶでしょうが、そのような体験は結構楽しいものです。

もうひとつは、多文化社会を体験することです。世界の多くの国々は、多文化社会です。日本のように単一言語や民族の社会は、むしろ珍しい。多文化社会のメリットやデメリットを知ることにより、これからの日本社会のあり方を考える手がかりになります。そのためには決して表面的な観察ではなく、現地の人たちから話を聞くことも大切です。

「キャリアデザイン」の出発点は、まず自分を知ること—いわゆる自己理解—にあるとよいでしょうが、それは個人の内側だけで完結するものではなく、さまざまな人々との関わり合いを通じて見出されます。すなわち、自分とは異なる文化を知り、多様な生き方や考え方、価値観などを学ぶことは、自己を相対化し、社会のなかで自らのアイデンティティを築いていくために大事なことです。

この機会に、今しかないチャンスを、自分のためにぜひ活かしてください。

スタディ・アブロード (SA) プログラムとは？

SA プログラムの目的

キャリアデザイン学部のSAプログラムは、集中的に英語を学び、英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後のキャリア形成の礎となる実践的英語スキルの習得を目指します。国際社会でのマナーとルールを身につけると同時に、そのプロセスを通じて国際人としての素養と自覚を高め、将来国際的に活躍するための意欲を培うことを期待しています。

SA 参加原則

- キャリアデザイン学部にて在籍し、所定の選考を通過すること（2012年度以降入学者に限る）
- ※応募時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍していることが必要。（休学中の派遣は不可）
- 心身ともに健康で、海外での生活に順応できること

- 事前の英語教育として、SAプログラム実施年度春学期までに下表11科目の中から4単位以上履修していること
- ガイダンス（参加先での安全面などの指導）に参加すること
- 留学中は定期的に、報告書を提出すること
- 帰国後、報告会に参加すること

SA プログラムの内容

- 派遣大学：
 - (1) ニュージーランド オークランド大学
(The University of Auckland)
 - (2) オーストラリア アデレード大学
(The University of Adelaide)
- 授業内容：
 - 週20時間のESL (English as a Second Language)

【SAプログラム 事前英語教育 対象科目】 ※ SA プログラム実施年度春学期までに4単位以上履修すること

	2014年度以降入学者 科目名	2012～2013年度入学者 科目名	単位数	科目群
1	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I	英語オーラルコミュニケーションA-I	1	市ヶ谷基礎科目4群
2	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II	英語オーラルコミュニケーションA-II	1	
3	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I	英語オーラルコミュニケーションB-I	1	
4	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II	英語オーラルコミュニケーションB-II	1	
5	English for Study Abroad I	英語オーラルコミュニケーションC-I	1	
6	English for Study Abroad II	英語オーラルコミュニケーションC-II	1	
7	国際コミュニケーション語学 (英語Ⅰ)		1	学部関連科目
8	国際コミュニケーション語学 (英語Ⅱ)		1	
9	国際コミュニケーション語学 (英語Ⅲ)		1	
10	国際コミュニケーション語学 (英語Ⅳ)		1	
11	国際コミュニケーション語学 (英語Ⅴ)		1	

授業を 15 週間受講する。

■ SA 参加期間：

- ・ オークランド大学
2017 年 8 月下旬～ 12 月上旬（予定）
（上記期間のうち授業期間は 15 週間）
- ・ アデレード大学
2017 年 8 月下旬～ 12 月下旬（予定）
（上記期間のうち授業期間は 15 週間）

■ SA 参加対象者：

キャリアデザイン学部 2～4 年生（派遣時）

■ SA 参加人数：各大学 5 名

SA プログラム費用

SA プログラムの費用は、全額個人負担となります。留学中も休学ではなく、在籍のまま留学します。したがって法政大学での学費は免除となりませんので、ご注意ください。

下表の金額は、2016 年度派遣の費用（実績）です。2017 年度派遣も同額程度の金額になる見込みですが、外貨の換算レート・授業料・宿泊費の変動によって異なってきますので注意してください。また、パスポート取得費用、小遣い、ホームステイ先から大学までの交通費、食事の一部（オークランド大学のみ）は含ま

れておりません。教材費が別途必要な場合があります。費用請求は、出発前に保証人宛に通知する予定です。

なお、SA 参加学生決定後に自己都合による留学の取消しを行う場合はキャンセル料が発生する場合があります。

SA 奨学金

キャリアデザイン学部の SA プログラムへの参加を奨励することを目的とした、奨学金制度です。返済の必要はありません。給付対象者の決定は、SA 奨学金申請願などの必要書類を提出し、学部成績や語学試験のスコア、事前英語教育の履修状況などから総合的に判断して行います。金額は、SA プログラムの総費用の 3 割程度を目途として給付されます。なお、SA 奨学金の給付は、SA 費用の総額から奨学金分を減額することにより行います。

単位認定

最大 16 単位を上限に、学部専門 関連科目（スタディ・アブロード I～IV）として、一括認定を行います。

【SA プログラム各コースの費用例（2016 年度実績〈SA 奨学金採用の場合〉）】

大学	授業料・宿泊費 (¥)	渡航 (¥)	ビザ (¥)	保険 (¥)	運営サポート料 (¥)	合計 (¥)	SA 奨学金 (¥)	学生負担 (¥)
オークランド	832,178	197,850	27,000	32,520	21,600	1,111,148	333,344	777,804
アデレード	887,717	152,630	78,340	41,570	21,600	1,181,857	354,557	827,300

(2016 年 7 月時点の情報 1NZ\$=¥75.44 1AU\$=¥82.12 として換算)

SA プログラムスケジュール / Q & A

● SA プログラムスケジュール

2016 年度		
9月28日(水)、 10月6日(木)	SA プログラム参加学生募集説明会	①
10月28日(金)	SA プログラム申し込み締め切り	②
11月中旬	面接選考(英語による面接を含む)	③
12月上旬	SA 参加学生の決定	④
1月	TOEFL [®] - ITP の受験	⑤
1~3月	各種手続き(アプリケーション記入ガイダンス)	⑥
3月下旬	ビザガイダンス	⑦

2017 年度		
4月	事前英語教育 履修登録	⑧
7月	危機管理ガイダンス	⑨
	SA プログラム費用支払	⑩
	キャリアアドバイザーによる面談	⑪
出発2週間前	直前ミーティング	⑫
8月	出国	⑬
12月	帰国	⑭
1月	帰国後報告会	⑮

〈2016 年度〉

① SA プログラム参加学生募集説明会

募集説明会を実施します。SA 参加を希望する学生はどちらか1日必ず出席してください。この説明会で志望理由書も配付します。

② SA プログラム申し込み締め切り

SA 参加希望者は「志望理由書」を締切日時までに必ず提出してください。

・提出締切日：2016年10月28日(金) 19:00

・提出場所：キャリアデザイン学部窓口

③ 面接選考(英語による面接を含む)

TOEFL[®] - ITP のスコア、当年度春学期までの成績、志望理由書、面接で選考を行います。

④ SA 参加学生の決定

選考により、キャリアデザイン学部教授会が参加学生を決定します。結果は、キャリアデザイン学部掲示板にて発表します。

⑤ TOEFL[®] - ITP の受験

学部で実施する TOEFL[®] - ITP を受験してください。

⑥ 各種手続き(アプリケーション記入ガイダンス)

パスポートを各自取得します。パスポートの取得費用は各自の負担になります。既にパスポートを持っている学生は、あらためて取得する必要はありませんが、SA 出発前や SA 滞在中にパスポートの有効期限が切れる場合は、更新手続きをしてください。

SA 先大学別の入学願書、ホームステイ申込書の記入をします。詳細は国際交流課 SA 担当からお知ら

せします。

⑦ ビザガイダンス

オークランド・アデレードともに学生ビザの取得が必要です。ビザ取得のためには各種証明書や書類を準備する必要があります。必要書類は国によって異なり、証明書の取得には時間がかかる場合があります。必ずビザガイダンスに出席し、期限内に書類を提出してください。

〈2017 年度〉

⑧ 事前英語教育 履修登録

派遣前の英語教育として2頁の表に示す事前英語教育対象科目の中から4単位以上を履修してください。

⑨ 危機管理ガイダンス

海外渡航中の注意事項(海外の危機管理情報、ヘルスケア、薬物など)や、海外旅行保険の内容の説明、渡航全般に関してのガイダンスを行います。市ヶ谷キャンパスで SA プログラムに参加する学生全員が対象です。保証人の方もご参加いただけます。

⑩ SA プログラム費用支払

SA 費用(渡航費、海外旅行保険料、ビザ申請料含む)は SA 先大学ごとに異なるため6月中旬頃から決定次第順次通知します。支払いは全額一括または分割払い(7月・12月)を選択することができます。所定の期日までに費用の支払いがない場合、SA への参加や単位認定ができませんので注意してください。

⑪ キャリアアドバイザーによる面談

SA 参加前にキャリアアドバイザーの面談を受けて

ください。

12 直前ミーティング

出発の約2週間前に、直前ミーティングを行います。空港への集合時間や、その他渡航、留学に必要な情報を提供します。

またこの時に、SA期間中に使用するSAポータルサイトについての説明を行います。

13 出国

SA先大学ごとにまとまって出国します。SAプログラムは授業の一環であり、単独での出国は認められ

ません。

14 帰国

SA先大学ごとにまとまって帰国します。SAプログラムは授業の一環であり、単独での帰国は認められません。また個別事情により帰国日を変更することもできません。

15 帰国後報告会

帰国後レポートを提出し、現地での授業内容・学習状況・生活について報告をしてもらいます。

● Q&A

Q 選考方法を教えてください。

A TOEFL、TOEICのスコア、今年度春学期までの成績、志望理由書、面接によって選考します。

Q 渡航・帰国は誰が手配しますか？

A 航空券は大学が旅行代理店を通じて用意します。また、SA先大学ごとに渡航・帰国します。

Q どんな保険に入ればよいですか？

A SA参加学生は、法政大学が指定する海外旅行傷害保険に加入することが義務付けられています。この保険はSA参加学生のために特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため、保険料が割安になります。

Q ビザ取得について教えてください。

A ビザは、大学が旅行代理店を通じて一括で申請します。ビザ申請中は、パスポートを旅行代理店に預けることとなりますので、ビザ取得までは海外に渡航できません。

Q ガイダンス、事前英語教育の授業に出席または受講ができません。

A ガイダンスへの出席、事前英語教育の授業の受講

は参加するための義務です。欠席が重なると派遣を取り消す場合があります。

Q SAプログラムの参加学生としてやらなければいけないことにどんなことがありますか？

A SAプログラムに参加することは学部の代表として留学することになります。

具体的には、ガイダンス・授業への出席、留学先での定期的な報告書の作成、帰国後報告会の参加、および後輩への情報提供等があります。

Q 帰国日を変更したいのですが？

A できません。

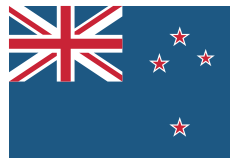
Q 留学期間を延長したいのですが？

A できません。

Q 留学先で旅行に行きたいのですが？

A SAポータルサイトから必ず旅行前に旅行届を提出してください。また、旅行先へは、日本の緊急連絡先を持参するようにしてください。旅行先から帰ってきたら、その報告も忘れずにしてください。なお、留学国以外の国への旅行はキャリアデザイン学部として許可できません。

SA 先大学の紹介 (ニュージーランド オークランド大学)



オークランド大学

English Language Academy The University of Auckland

- HP : <http://www.ela.auckland.ac.nz/>
- 住所 : Level 5, 67 Symonds Street Auckland 1142, New Zealand

● 概要

オークランド大学は 1883 年に創立された国立大学で、ニュージーランド (北島) の最大都市オークランドに位置するニュージーランドの代表的な教育機関です。2015 年のタイムズ誌「The times Higher Education」では世界のトップ 100 位以内にランクインされました。

● 授業の内容

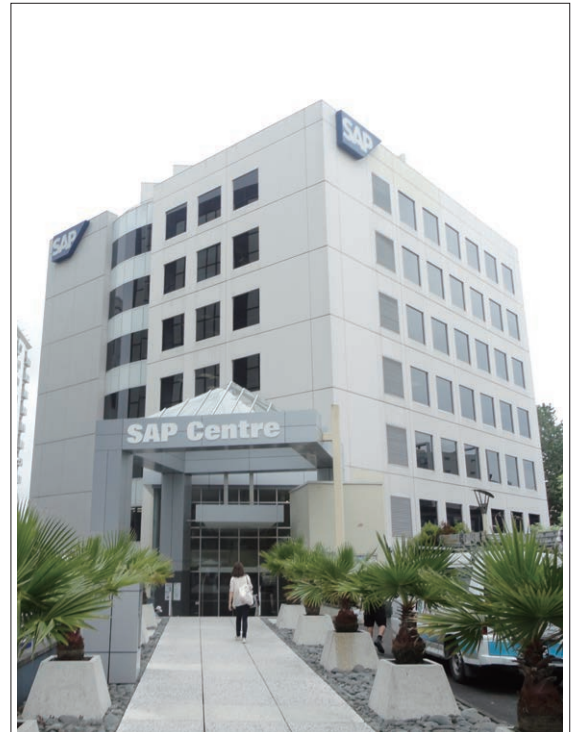
▶ 履修するコース

Global English Plus (GEP)

オークランド大学の付属校である English Language Academy での ESL 集中授業を通じて、1 週間あたり 20 時間の授業と 2 時間のワークショップが組みられています。5 週間ごとに成績評価とクラスチェンジがあります。オプションで Conversation Club に参加することも可能です。授業の期間は 15 週間です。

● 宿泊施設

SA プログラムの期間中はホームステイとなります (平日 2 食、週末 3 食付)。



○ SA 参加者より

NZ は豊かな自然の中で、日本では見ることのできない壮大な景色を見ることができ、そうした穏やかな環境の中で時間に追われず、ストレスなく、のびのびと勉強できました。また治安が良く、現地の人々もフレンドリーで、NZ の人々の人の好きを実感し、忙しく毎日過ごす日本では感じるることのできない、現地ならではの人々の人間味溢れるあたたかさ、素晴らしさも感じることができました。

英語はもちろんのこと、それだけではなく、NZ の文化を生で感じることで、日本を客観視でき、人として様々な部分で成長できました。この留学経験を通して自分の視野が大きく広がりました。



● 授業

オリエンテーション

初日は、オリエンテーションに参加し、授業の説明や施設案内、また生活についてのアドバイスなどを受けます。その後、クラス分けのテストが行われます。(年度によっては渡航前に実施)

レベル

Starter, Elementary, Pre Intermediate, Intermediate, Upper-Intermediate, Advanced の6つのクラスがあります。

時間割

午前授業の場合、8:15～10:15 General English (通常クラス)、10:30～12:30 (選択クラス) の2コマを受けます。(午後授業の場合は13:00～15:00、15:15～17:15となります。) クラス分けテストの結果によってレベルに応じたクラスが決定します。

通常クラス

1日2時間ずつの通常クラスと選択クラスを受けることができます。通常クラスでは、文の構成、単語、リスニングやリーディング、ライティング、スピーキング、発音を学びます。

選択クラス

スピーキング、ライティングの強化クラス、IELTS、ビジネスクラスなどがあります。レベルによって受けられるクラスが異なります。

《 Students' Voice 》

5週間に1回テストが行われ、英語の実力を確かめることができます。また結果次第ではクラスのレベルを上げることができます。

レベルによって授業が午前と午後に分かれる場合もあります。

《 Students' Voice 》

Speaking, Writing のスキルを上げるための授業も充実していて、自分の伸ばしたい分野の授業を選ぶことができます。

またコンピュートルームにはDVD や洋書も置いてあり、自由に借りることができます。積極的に利用することをおススメします。

《 Students' Voice 》

クラスには日本人以外にも韓国、中国、台湾、タイ、コロンビア、サウジアラビア、インドネシアなどの留学生がいました。ディスカッションをする際、言葉が通じず言いたいことが言えないもどかしさを感じることは何度もありましたが、わかり合えた時の喜びはとても大きく、またそれぞれの国の言葉や文化も一緒に知ることができました。



SA 先大学の紹介 (ニュージーランド オークランド大学)

● キャンパスライフ

ホームステイ

参加者全員がそれぞれのホームステイ先で生活し、英語環境の中で過ごします。学校まではバス等で 30 分程度です。

食事

平日の昼食は SA プログラム費用には含まれていませんので、サンドイッチ等の軽食ですませたり、近くのカフェ等を利用します。

友人

学校内には世界各国から集まった学生がたくさんいます。語学力アップのためにも英語でたくさん話すように心がけましょう。また現地大学のサークルにも積極的に参加することで、現地で友人をつくることもできます。

施設・学習環境

学校にパソコンが設置されている自習スペース、Study Centre があります。困ったことがあった場合には、先生やスタッフが現地でサポートしてくれます。また学校の近くに Public Library もあります。

通信環境

学校内には無料の Wi-Fi があり、ステイ先でも Wi-Fi が使用できる場合があります(有料の場合もあり)。日本で使用しているスマートフォンは主にインターネット用として利用し、通話・テキストメッセージは現地で購入できるプリペイド式の携帯電話や日本からのレンタル携帯電話を利用するのがよいでしょう。

交通

オークランドでは徒歩やバスでの移動がメインとなります。バスゾーンによって金額が異なりますが、バスの定期券もあります。

《 Students' Voice 》

ホストファミリーと一緒にレストランで食事しました。



《 Students' Voice 》

Study Centre の方は本当に優しく、親身になって相談にのってくれます！語学力向上にもつながるので、会いに行ってみてください。



● 課外活動

課外イベント

フットサルやハイキング、乗馬など学校主催のイベントが定期的
に開催されています。イベント情報はオリエンテーションや
Facebook などを通じて確認することができます。友だち作りの
場としてうまく活用しましょう。

ショッピング

学校は市内の中心に位置するので、洋服・おみやげなどのショッ
ピングを楽しむこともできます。また、お昼の食材などは市内中に
あるスーパーマーケットを利用することができます。

週末

土日は授業がないため、友人やホストファミリーと外出したり、
一週間の授業の復習や課題をして過ごします。また日帰りや1泊
旅行も可能です。

ホリデー

10月の第4月曜日はNZではLabour Dayという祝日があり
ます。3連休になるため、金曜日の放課後から3泊4日のツアー
に多くの学生が参加します。自然がきれいなNZを楽しめます。

ルール

キャンパスを出ると皆さんは自由に過ごすことができる反面、
様々な危険もあります。課外活動中の安全確保のため、以下のルー
ルを厳守してください。

1. 旅行の際は事前に法政大学への届け出が必須です。
(留学国以外の国への旅行は、キャリアデザイン学部として
不可)
2. 授業を休んでの旅行は認められません。
3. 車の運転やアルバイトはできません。



《 Students' Voice 》

ハロウィーンでは学校に仮装して
きて授業を受けている生徒がいたり、
放課後にはラウンジで仮装コンテ
ストが行われます。私も法政メンバ
ーでシン普森ズに仮装し、準優勝で
きました！とにかく盛り上がります。



《 Students' Voice 》

休日と10月にある祝日 Labor
Day を活用して南島のクライストチ
ャーチと Lake Tekapo に行ってい
きました！ SA のメンバーともより仲
を深めることができました。



《 Students' Voice 》

NZ ラグビーの代表チーム “All
Blacks” の有償凱旋パレードを学校
の友達と見にいきました。ゲーム当
日も国を挙げて応援していたことが
印象的でした。



SA 先大学の紹介 (オーストラリア アデレード大学)



アデレード大学

English Language Centre, The University of Adelaide

- HP : <http://www.adelaide.edu.au/elc/>
- 住所 : Level 9, 115 Grenfell Street, Adelaide SA 5005 Australia

● 概要

1874年に創立され、南オーストラリア州アデレードに位置する公立大学です。これまでに5人のノーベル賞受賞者を輩出し、世界的な研究機関として知られています。オーストラリア国内の優秀校であるオーストラリア国立大学、シドニー大学、メルボルン大学などから構成されるオーストラリア8大学 (the Group of Eight) のメンバー校です。

● 授業の内容

▶履修するコース

General English for Academic Purposes (GEAP)

最大18人のクラスで、ESL集中授業を通じて英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、実践的な英語スキルの向上を図ります。毎週金曜日はIELTSやTOEFL対策などの選択授業があるので興味のある授業を受講することができます。1週間あたり20時間の授業で、その中にActive Program (オリエンテーションシティツアーなど)が含まれています。授業の期間は15週間です。

● 宿泊施設

SAプログラムの期間中はホームステイとなります(全日3食付)。



○ SA 参加者より

最初は英語を使うのも疲れますし、不安も多々あったので、日本人と一緒にいることが多かったように思います。しかし徐々に外国人の友達が増え、街に慣れていくにつれて、行動範囲も広がっていきました。アデレードは小さな町ですがお店も自然も多く、とても住みやすい街です。海も近いので、学校帰りにふらっとトラム(路面電車)で立ち寄ることも楽しみの一つでした!法政からは5人派遣されましたが、何もトラブルなく4ヶ月を過ごせてよかったです。5人で、タームの間にある1週間のホリデー中に、メルボルンやゴールドコーストに旅行に行きました。勉強も良いですが、たまには観光で息抜きも良いと思いますよ。みなさんもアデレードで、新しい自分・新しい仲間を発見してみてください。



● 授業

オリエンテーション

事前に日本でクラス分けテストを行い、それに基づき自分の語学力に適したクラスで授業を受けます。授業カリキュラムや施設利用などの説明はオリエンテーション時に行います。初日はホストファミリーが同行し、学校までの行き方を教えてください。

レベル

elementary から advanced まで、5つのレベルがあります。

時間割

月～木曜日までは通常クラス、金曜日は選択クラスです。曜日によってスピーキング、リスニング、リーディングやライティングの授業に分かれていることが多いです。授業は午前のみ、もしくは午後のみなので授業以外の時間を勉強やアクティビティに有効活用することができます。タームごとにレベルに応じてクラスが変わるため、時間割もそれに応じて変更になります。

通常クラス

レベルに応じたリーディング、ライティング、リスニングやスピーキングを学ぶと同時にチームワーク力や問題解決力を養っていきます。

授業内アクティビティ

通常はクラスルームで授業を行いますが、ときには外にでて行き、大学主催のイベントにも参加したりします。現地の学生と交流する機会もありますので、異文化理解や語学力の向上に役立ちます。

選択クラス

金曜日は Global Communication Skills, Global Citizenship, Australian Studies and Popular Culture, Test Preparation TOEFL or IELTS などのクラスを希望に応じて選ぶことができます。(レベルによって受けられないクラスもあります)

《 Students' Voice 》

GEAP1/2/3/4/5 という区分けで、私たちは皆、3からスタートしました(クラスは別でしたが)。最初は夏休みなので日本人の比率が多いですが、徐々に外国人も増えてきます。

《 Students' Voice 》

午前しか授業がない日の午後は課題に取り組んだり、クラスメートと遊びに行くことが多かったです。午後授業の日は、朝をゆっくりと過ごして登校しました。クラスメートとプレゼンの準備をしなければいけないこともあったので、みんなでパソコン室にこもることも、しばしばありました。



《 Students' Voice 》

英文法を英語で学ぶというのは、一見難しいようにみえますが、先生の英語はとても聞き取りやすく、生徒のレベルにも合わせてくれるので安心でした。私は毎日英語で日記をつけて、少しでも文章力が上がるように心がけていました。



SA 先大学の紹介 (オーストラリア アデレード大学)

● キャンパスライフ

ホームステイ

参加者全員がそれぞれのホームステイ先で生活をします。ステイ先は場所や家庭環境もそれぞれ異なります。

食事

プログラム期間中の食事は、基本的にホストファミリーが一日三食用意してくれます。

友人

クラス・キャンパス内には、色々な国から英語を学びに来ている学生がたくさんいるので、より広い友人関係が作れるよいチャンスです。コミュニケーションが大事になるので、間違うことをためらわず積極的に話すことが大切です。



施設・学習環境

授業以外での勉強は、家や大学の主要施設内などで行えます。キャンパス内にはパソコンが常備されており自由に使えます。また、図書館やディスカッションルームなどもあるので、個人だけでなくグループで勉強をする施設も充実しています。

Hub という施設は PC を使うことができるほか、学生のミーティングルームやスカイプルーム、コピー機、リラクゼーションルームやミニキッチン、ロッカーなども使えます。

通信環境

ステイ先も Wi-Fi を契約している家庭が多いので期間中は節度をもって使わせてもらいましょう。

大学のあるアデレード中心地には Free Wi-Fi の回線がありますが、ステイ先を離れると Wi-Fi を使えなくなるので現地で使える電話でも回線用意することをお勧めします。



《 Students' Voice 》

どのホストファミリーもとても優しく親切で、他のメンバーのステイ先に遊びに行った仲間もいました。



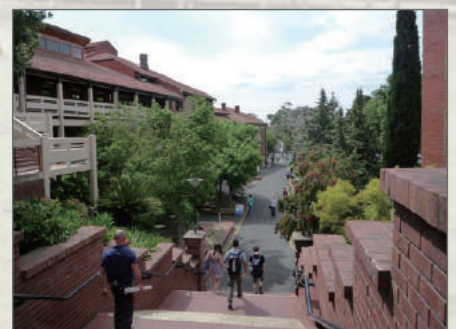
《 Students' Voice 》

街の中心地には、手軽なファストフード店やフードコート、しっかりとしたレストランやバーがあり、友だちと行きました。



《 Students' Voice 》

Wi-Fi 環境下では、日本で使っている携帯電話やスマートフォンも使うことができます。



● 課外活動

課外イベント

課外イベントの一つとして ELC Social Club があります。いろいろなイベントがあるので参加してみたいかでしょうか（特に coffee & chat がおすすめ）。

イベントを通じて自分たちと同じく、英語を学びに色々な国から来た人との友人関係も広がります。授業とは違った雰囲気の中で英語に触れるいい機会です。

ショッピング

大学のすぐ近くに大きなショッピングストリートがあり、ほとんどのものは揃えることが出来ます。またレストランやフードコートもあるので気軽に食事にも行けます。さらに、大学周辺は交通網も充実しているので、中心地から離れた所のショッピングモールなどへのアクセスも簡単です。

週末

ホストファミリーや友達と過ごしたりします。もちろん、週明けの授業や課題等にも備えましょう。

ホリデー

5週間で構成されている1タームが終わると1週間の休暇が、プログラム中に2度あります。休暇中はホストファミリーと過ごしたり、オーストラリア国内を旅行することもできます。この機会にオーストラリアの文化に触れてみましょう。旅行先としてメルボルンやゴールドコーストに行き、中にはシドニーに行った人もいます。

ルール

キャンパスを出ると皆さんは自由に過ごすことができる反面、様々な危険もあります。課外活動中の安全確保のため、以下のルールを厳守してください。

1. 旅行の際は事前に法政大学への届け出が必須です。
（留学国以外の国への旅行は、キャリアデザイン学科として不可）
2. 授業を休んでの旅行は認められません。
3. 車の運転やアルバイトはできません。



《 Students' Voice 》

コーヒーチャットでは、色々な国の人と話せて友達がたくさんできました！学外ではビーチバレーにアイススケート、サッカー観戦もやりました！



《 Students' Voice 》

スポーツフェスティバルで仲良しな先生と（公園がとても広かったです）。



《 Students' Voice 》

アデレード大学では、季節によって咲くきれいなパープルのお花です。この中庭でよくピクニックをしました。



SA 体験記

● Student Column

伊東 慶(3年)/ オークランド(ニュージーランド)に滞在

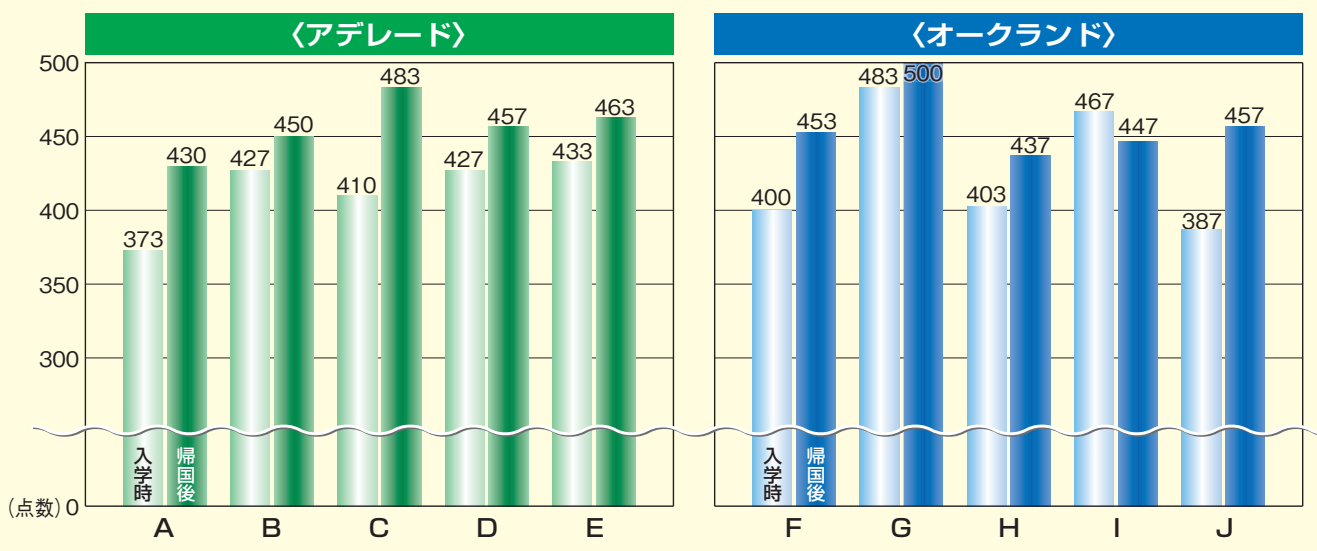
約4ヶ月の留学生活は、今までの人生においてとても大きなものでした。海外で初めて暮らし、全く知らない家族の家にホームステイをし、異文化の中ですべての生活を英語で行うということは、頭ではわかっているつもりでも実際にやってみると最初のうちはすごく疲れました。しかし、留学先の学校でできた友達や、ホストファミリー、ニュージーランドのあたたかさのおかげで、次第に毎日楽しくなっていました。英語学習においては、毎日学校に朝から通って勉強していたため、留学で重視されがちリスニングとスピーキングだけではなく、エッセイやプレゼンテーション、文法の学習も行い、帰国後に受けたTOEIC・TOEFLでは高い点数を取ることができました。また放課後友達の家遊びに行ったり、海岸に行ったり、休みに飛行機で旅行をしたりなど、私生活の面でも満喫できました。日本ではできないことを意識し、毎日違うことをして過ごした日々は、初めて日本を長い間外側から見られて、改めて日本の魅力に気付けた貴重な時間でした。



2015年度SA派遣学生(A~J、10名)

TOEFL®-ITPスコアの変化

帰国後は平均**37%**アップ



SA プログラムについての問い合わせ先

法政大学 キャリアデザイン学部窓口 (TEL: 03-3264-9341)

窓口時間 月~金 9:00 ~19:00 (昼休み11:30 ~12:30)
土 9:00 ~12:00